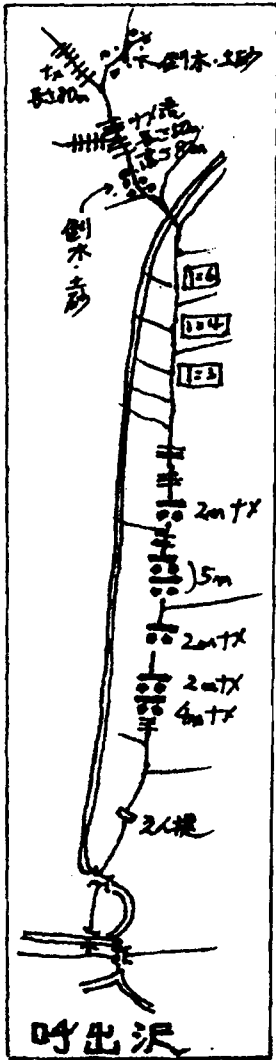


呼出沢 1985年8月4日  
I



出合から見た呼出沢は、河原状であったので、しばらく林道を歩いてから沢に下る。沢はほとんどナメとナメ滝で、特に困難な場所もないまま上部の二俣に出る。林道はこの先も右俣にそって続いている。

私達は左俣に入る。しかし、すぐに倒木と土砂で沢は埋まった状態となってしまった。倒木の上を乗り越えて進むと、高さ8m、長さ50m、幅3~4mのナメ滝となる。これを越すと、沢はまた倒木と土砂で埋まっている。しばらくその上を歩くが、倒木の上をただ歩くだけなので、適当な所で遡行を切り上げる。

下降後、林道でノイチゴを採りながら、トヤス沢出合の幕営地に戻る。

(記)

[タイム] 呼出沢出合(6:25)→二俣(8:05)→遡行終了(8:45)

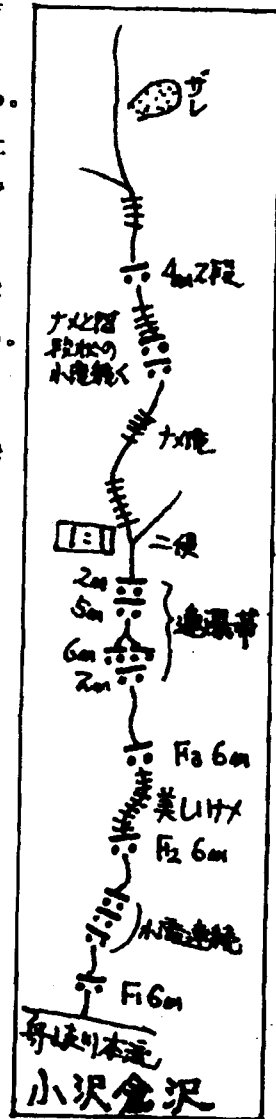
小沢倉沢

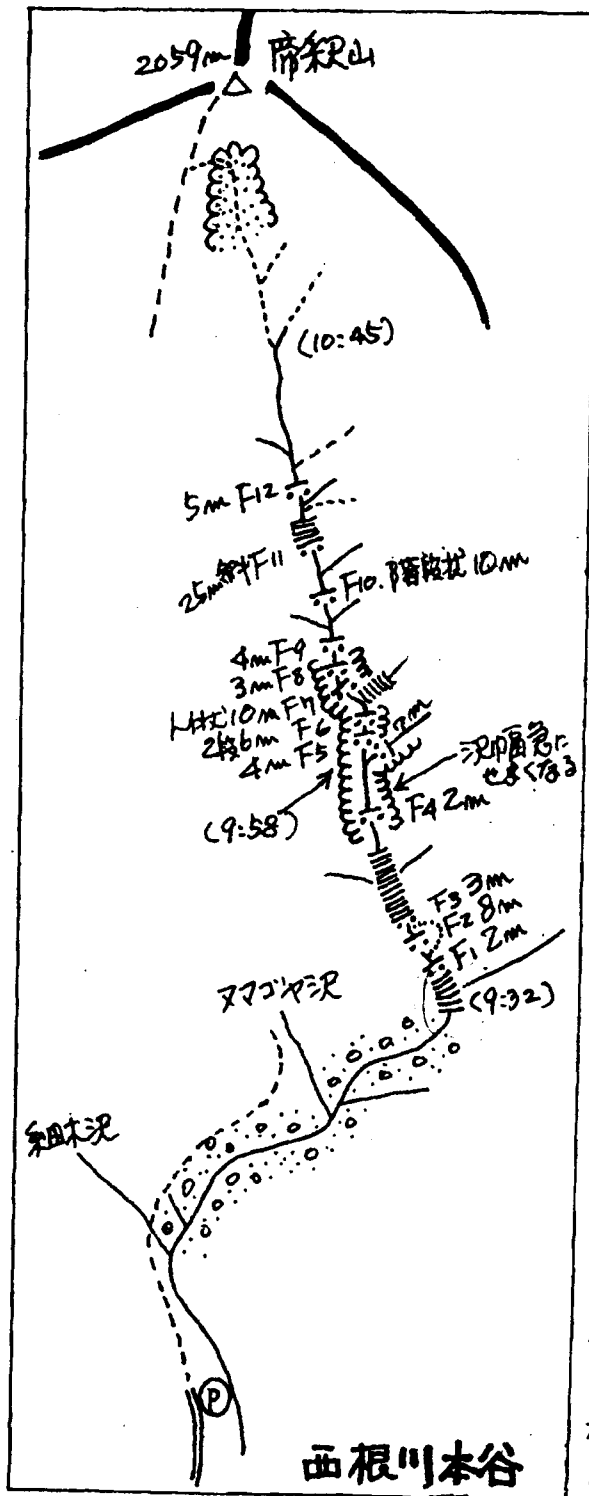
1985年8月4日  
I

トヤス沢出合の幕営地から20分程腐道寸前の道を歩き、砂防ダムを越して小沢倉沢出合に着く。すぐに6mの滝。このあとも小滝が連続し、天気の良いことも手伝って、楽しい遡行となる。

出合から20分程でF<sub>1</sub> 6mの滝が現われる。右岸を直登するが、すべりやすいので、セカンドにはザイルを出す。この上は美しいナメが続き、すぐにまたF<sub>2</sub> 6mの滝となる。ここから二俣までは階段状の連続帯となる。

二俣着7:55。小休止とする。ほぼ1:1の水量比だ。この先はナメと小滝の連続となる。右にザレ場を見送ると、





ヤブがかぶさりはじめる。水流はまだあったが、ここで遡行終了とし、焼沢下降のため尾根に上がる。

(記)

[タイム] 出合(6:40)→二俣(7:55)→遡行終了(8:40)→尾根(9:00)

### 西根川流域の沢

西根川は、帝釈～田代間に源を発し、北流して館岩川と合し伊南川にそそぐこの山城北面の大支流の一つである。今年は、その源頭部を遡行した。

### 西根川本谷

1985年9月7日

L.

前夜のうちに木賊温泉に入る。早朝、田代登山口にむけ車入り、ゲートの手前に車を留置する。細木沢の出合まで徒歩約1時間である。林道は、細木沢手前の砂防ダム工事の小屋跡まではしっかりしている。この先は沢があばれるのであろう、林道は至る所寸断され、歩くにも苦勞するほどである。

細木沢出合からヌマゴヤ沢まで、右岸の登山道を歩こうとするが、こちらも寸断がひどく、ヤブもかぶさっているので、私達は身仕度